



上北だより

297号

平成27年2月27日
練馬区立上石神井北小学校
校長 市川 順康

「博物館と脳」

校長 市川 順康

国立京都博物館が、リニューアルのために設計されたのが平成10年、平成20年から予算措置が始まり、平成21年に着工、そして平成24年に完成しました。計画から約16年かけ、日本の伝統を代表する京都のたたくまいにマッチした「国立京都博物館平成知新館」が完成したのです。おととしの9月から、歴史的に有名な絵画、仏像等有名な国宝が展示され、たくさんの来場者を迎えたことでもニュースになりました。

実は、博物館の建物自体は、オープンの前年に完成していたようですが、博物館というのは、完成したからといって、その後すぐには展示品を搬入しないのだそうです。完成後の約1年間、建物に残る化学物質、湿気など、収蔵品の保管の妨げになるものが、すべて完全に抜けきってから、大切な国宝等を収蔵するのだと聞いて、博物館の大きな役割が、宝物を「保存・保管」することが中心的な働きなのだということがよくわかりました。わたしたちが見学できるのはその後。そして、日本の歴史が残した膨大な数の国宝は、その中から選りすぐられ、その一部を見学することができて、はじめて、わたしたちの身近になるというわけです。

博物館の役割には、「資料収集」「整理保管」「調査研究」「教育普及」という、「博物館四大機能」と呼ばれる役割があります。こうしてみると、まるで人間の脳の働きに似ているように思えてきます。資料を集め、整理をし、学習を深め、それを生活やさらなる学習に生かしていくという、脳の動き、働きととてもよく似ています。人間の脳は、同時に、100%使われることはないそうです。残りの部分は、使われていない、休んでいるわけですが、何かのきっかけで使われることもあり、その部分は大切に保存、保管されているのです。使い続けると、頭も疲れ、脳も十分に機能しなくなってしまう。次の「大事な収蔵物」を保管するためには、やはり、それなりの準備、つまり時間が必要になります。インターバルの時間を設けることで、その後の動きがスムーズになることは容易に想像することができます。

勉強、仕事、遊び（特にゲーム）で、大人も子供も集中しすぎて、疲れに気づかず、そのまま脳を使い続けることは、とても危険なことです。上北小の子どもたちは、教科の学習の他に、専門家による音楽の演奏を聴いたり、工場や博物館、資料館等を見学してきました。十分な休養や睡眠でリセットされた子どもたちの脳に、音楽のすばらしさ、博物館で得た知識、上北小の展示会での感動、マラソン旬間の充実感を満たして、「心ゆたかなじょうぶな子どもに育てる」という教育目標を達成していきたいと考えております。

尚一層、保護者、地域の皆様のご支援、ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。

3月の行事予定

- | | |
|------------------------------|-----------------------------------------|
| 2日(月) 全校朝会 委員会 | 16日(月) 全校朝会 5時間授業 |
| 3日(火) 特別時程 5時間授業 低学年保護者 | 23日(月) 全校朝会 給食終了 大掃除 |
| 4日(水) 特別時程 2:15下校
謝恩会・祝う会 | 24日(火) 修了式(1~4年は9:50頃下校)
卒業式予行(5・6年) |
| 5日(木) 特別時程 5時間授業 中学年保護者会 | 25日(水) 卒業式(5・6年) |
| 6日(金) お別れ会・親子給食<みつば> | 26日(木) 春季休業日始 |
| 9日(月) 全校朝会 クラブ(希望調査) | ※27年度 第1学期始業式・入学式は、 |
| 11日(水) 避難訓練 起震車体験<6年> | 4月6日(月)です。 |